

第6回 食品安全文化の可視化に関する研究会

【ツールブラッシュアップ・ガイダンスチーム検討会議】議事概要

日時：2026年1月14日（水）14:00～（閉会16:30）

場所：ハイブリッド開催（会場（中央合同庁舎第4号館）+Teams）

・ブラッシュアップチーム：現行会議室

・ガイダンスチーム：隣の会議室

次第

1. 情報共有

ブラッシュアップチームからのアップデート

- GFSIステアリングコミッティーでの「5つの側面」の継続を確認
- 評価項目（29項目）の進捗状況

評価ツールのデモンストレーション

- 多言語版（7カ国語）の紹介
- データ反映シートおよび分析結果画面の確認

ガイダンスチームとの連携および進捗共有

- 5因子の定義およびGFSI 5側面との相関
- ベストプラクティス（事例）の共有

2. チーム別意見交換および設問の精査

- 設問No.18、21の文言および因子の再検討
- 5因子の定義文の確定

3. 今後のスケジュール確認・閉会

情報共有

・ GFSI（世界食品安全イニシアチブ）との関連性

- ステアリングコミッティーにおいて、食品安全文化における「5の側面」が継続されることが確認された。
- 日本版ツールにおいてもGFSIの側面を据え置く形で開発を進める。

・ 農林水産省報告会について

- 3月にFCP（食品安全コンプライアンス・プログラム）活動の報告会があり、本ツールおよびガイダンスの成果を発表予定。

・ ツールの多言語対応状況

- 中国語、英語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、ミャンマー語など、日本語を含めて合計7カ国語版のアンケート準備が完了。

・ ツールの機能解説

- CSVデータを「データ反映シート」に貼り付けることで、職責別（管理者、監督者、作

業者）のスコアや、5因子別のレーダーチャートが自動生成される仕組みを構築。

ブラッシュアップチーム意見交換

- **評価軸の優先順位について**
 - 現場での混乱を避けるため、FCP 独自の「5 因子」による分析をメインとし、GFSI の「5 つの側面」は参考資料としての位置づけにする方向で合意。
 - **社会的な望ましさバイアスへの対応**
 - 従業員が「理想的な回答」をしてしまう傾向（いい子ちゃん回答）に対し、設問のハーダルを上げる表現や、主語の検討（「私は」か「私の職場は」か）について議論。
 - **「食品安全・衛生・品質」の用語定義**
 - 企業によって定義が異なるため、ガイドンス上では「食品安全（衛生を含む）および品質」として包括的に扱うことを検討。
 - **フォーマット流用の是非**
 - 現在のガイドンス文書のフォーマットが特定企業のグローバルプラットフォームに酷似している点について、必要であれば汎用的なデザインへの修正を検討する。
-

ブラッシュアップチームの決定・確認事項

- **評価項目の確定と修正**
 - 29 項目ベースで継続。懸案だった No.18 と No.21 は以下の通り整理。
 - **No.18**：「私はたとえ忙しかったとしても……」とし、因子は「**従業員の関与（F5）**」に配置。
 - **No.21**：「私の職場には……実際に作業している方の声が反映される**仕組みがある**」と修正し、因子は「**リソース支援（F1）**」に配置。
 - **設問 No.26 の修正**
 - リーダーシップ（F3）をより反映させるため、「**すぐに対応できるように指示が出ている**」という旨の文言に変更。
 - **5 因子の定義確定**
 - リソース支援、コミュニケーション、リーダーシップ、リスク認知、従業員の関与の各定義文の骨子を承認。
-

今後の対応（アクション）

- **ブラッシュアップチーム：**
 - 決定した設問文の修正およびツールへの反映。
 - 5 因子の定義文について、AI 等を活用して中小企業の従業員にも伝わりやすい「**平易な表現（口語訳）**」への変換。

- **ガイダンスチーム :**

- 因子別分析を主軸としたガイダンス構成の再編。
- GFSI 5 側面との対応表（マトリクス）および定義文の掲載。
- サプライヤー等の協力を得たベストプラクティス事例の追加。

- **全体 :**

- 2 月の最終会合にてツールを完成させ、3 月の報告会に向けた資料作成を行う。
- 2026 年 3 月 12 日に当研究会での活動を主題にした講演会を予定。
- 参加企業様からの講演のご要望があれば遠慮なく発起人に連絡を。

以上